



建築公開イベント「イケフェス大阪」の光景

住まい・まちづくりセミナー

2025(令和7)年
2月28日(金)
13:30~15:30(開場13:00)

(一財)山口県建築住宅センターは、建築や住宅を通じて地域の発展や持続可能な未来を目指すことを目的に、「住まい・まちづくりセミナー」を継続して開催してきています。今年も、建築史家として建築そのものの魅力と可能性を、研究、執筆、実践活動を通じて深め、広めておられる大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻教授の倉方俊輔先生にご講演いただきます。先生が全国各地で実施してこられた「都市の魅力を高める建築公開イベント」などの実例を振り返りながら、建築に関わる人たちが進めてきた地域に根差したまちづくりや建築文化の創造について考えます。

これからの住まい、まちづくりのヒントがきっと見つかるはずです。奮ってご参加ください。

会場 **山口県旧県会議事堂議場**
国指定重要文化財 山口市滝町 1-1 山口県庁内

定員 **100名** CPD 2単位

■ 主催者あいさつ 13:30~13:35

松田 悦治 [(一財)山口県建築住宅センター理事長]

■ 講演1 13:35~14:10

山口県内近現代建築見て歩き

● 講師 原田 正彦 [(一社)山口県建築士会副会長・山口近代建築研究会代表]

■ 講演2 14:10~15:30

公開イベントがつなぐ建築と市民
～独自性を育み、ファンを増やす建築の使い方～

● 講師

くら かた しゅんすけ

倉方 俊輔 先生

[大阪公立大学大学院工学研究科
都市系専攻教授・建築史家]

普段は見られない建築を特別に公開する「建築公開イベント」が広まりを見せています。既存の文化財公開などと何が異なるのでしょうか？そして、まちづくりとの関係は？国内最大の建築公開イベント「イケフェス大阪」が2014年に始まって以来の経験、国外の先行事例「オープンハウスロンドン」、国内の様々な場所で勃興しつつある事例を通じて、公開イベントが建築と市民をつなぐ様子をご紹介します。



「東京建築祭2024」ガイドツアーの様様

[主催] 一般財団法人 山口県建築住宅センター

[後援] 山口県、(一社)山口県建築士会、(一社)日本建築学会中国支部、
(一社)山口県建築士事務所協会、山口県ゆとりある住生活推進協議会 など

[問合せ]

(一財)山口県建築士会 〒753-0072 山口市大手町 3-8
TEL:083-922-5114 FAX:083-922-5122

倉方 俊輔 (くらかた しゅんすけ) [大阪公立大学大学院工学研究科都市系専攻教授]



【経歴】

1971年生まれ。建築史家。早稲田大学理工学部建築学科卒。同大学院修士課程修了。2011年より大阪市立大学准教授。2022年より大阪公立大学教授。

これまでの実践活動として、日本最大級の建築公開イベント「イケフェス大阪」、「京都モダン建築祭」、「東京建築祭」、日本建築設計学会、東京建築アクセスポイント、Ginza Sony Park Projectの立ち上げからの関わりなどがある。

【受賞歴】

2017年 日本建築学会賞(業績)、2018年 日本建築学会教育賞 ほか

【著書】

『吉阪隆正とル・コルビュジエ』(王国社)、『ドコノモン』(日経BP社)、『伊東忠太建築資料集』(ゆまに書房)、『東京建築 みる・あるく・かたる』(京阪神エルマガジン社、共著)、『大阪建築 みる・あるく・かたる』(京阪神エルマガジン社、共著)、『生きた建築 大阪』(140B、共著)、『神戸・大阪・京都レトロ建築さんぽ』(エクснаレッジ)、『東京レトロ建築さんぽ』(エクснаレッジ)、『東京モダン建築さんぽ』(エクснаレッジ)

【その他】

近年、「美の巨人たち」(テレビ東京)、「趣味どきっ! まんぼ旅〜街の魅力を再発見」(NHK教育)などのテレビ番組にも登場されている。



「オープンハウスロンドン」の公開建築で絵本を楽しむ親子

申込方法

メール、もしくは下記の「セミナー申込書」にご記入の上、FAXにてお申込みください。

メールアドレス: info@y-shikai.or.jp FAX番号: 083-922-5122

セミナー申込書

本申込書に必要事項をご記入のうえ、下記のFAX番号へお申し込みください。

FAX番号: 083-922-5122

申込日	年 月 日 ()
開催日	2025年 2月 28日 (金)
お名前	フリガナ:
	氏 名
ご連絡先	(会社名)
	(所属)
	(日中連絡できる携帯電話等)
	TEL: () - FAX: () -
CPD会員番号	

〈個人情報の取り扱いについて〉

セミナー申込書にご記入いただいた個人情報につきましては、セミナーのご案内にのみ使用いたします。